

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-50		施設整備事業(終末)					
	□支援部門							
主管課	浄化センター	関連課	下水道河川課					
分野名	下水道・河川							
目標 (目標値)	処理機能の確保を図るため、山崎浄化センターの再構築計画を進める。							
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考			
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
	事業の対象者数	79,669人	79,217人	78,812人				
運営資源 状 況	決算値(千円)	961,000	759,600	927,930	浄化センター職員11人のうち、管財課兼務職員分0.2人を差引いた10.8人から各事業毎に人員配置を行っています。			
	(国・県)	533,104	427,438	528,813				
	(負担金等)		294,976	355,600				
	(一般財源)	427,896	37,186	43,517				
	人員配置数	1.4	1.5	2.0				
	人件費(千円)	11,077	12,850	17,135				
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	972,077	772,450	945,065	対象者1人当たりの経費は、 世帯数＝事業の対象者数 として算出			
	市民1人当りの経費(円)	5,485	4,359	5,334				
	対象者1人当りの経費(円)	12,201	9,751	13,371				
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒							
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)	
		目標値						
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値						

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止									
施設整備事業 (終末)	961,000千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	耐用年数を超えた七里ガ浜浄化センターの改築工事業務及び山崎浄化センター長寿命化計画策定業務													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	七里ガ浜浄化センターの改築工事は既設設備を運転しながら更新するため、運転に支障が生じないように工事を進める必要があった。		
課題解決のための取組	七里ガ浜浄化センター改築更新工事では毎週工程会議を実施し、進捗状況の確認をしつつ、通常処理に支障が生じないように綿密に施工管理を行った。	取組の結果	■解決(一部) ■未解決(一部)
未解決の課題	適正な処理を継続するため、「山崎浄化センターの再構築基本設計(長寿命化計画)」に基づく改築を行う。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了		
		②妥当性	○			長寿命化計画に基づく山崎浄化センターの改築を実施し、 良好な処理機能の確保を図る。	課長等名	
		③有効性	○				A	浄化センター所長
		④公平性	○					原 秀広

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
施設整備事業 (終末)	544	七里ガ浜下水道終末処理場改築工事委託料	950,400	950,000	○	○	○	○
	544	山崎浄化センター焼却設備調査・台帳整備委託料	11,000	11,000	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							